

貸借対照表

(2024年8月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	12,613	流 動 負 債	10,096
現金及び預金	4,115	買掛金	7,341
売掛金	1,581	1年内返済予定長期借入金	40
商品	5,697	リース債務	42
貯蔵品	7	未払金	957
前払費用	311	未払費用	651
未収入金	841	未払法人税等	4
一年内償還予定差入保証金	57	未払消費税	5
その他	1	預り金	67
		契約負債	731
		賞与引当金	216
		ポイント引当金	23
		その他	11
固 定 資 産	4,856	固 定 負 債	980
有形固定資産	1,664	長期借入金	70
建物・附属設備	1,129	リース債務	184
構築物	59	資産除去債務	703
器具備品	396	長期預り保証金	11
リース資産	72	長期未払費用	9
建設仮勘定	6		
無形固定資産	196	負 債 合 計	11,076
ソフトウェア	120		
ソフトウェア仮勘定	76	純 資 産 の 部	
投資その他の資産	2,994	株 主 資 本	6,393
長期前払費用	70	資本金	100
前払年金費用	74	資本剰余金	850
長期滞り債権	16	その他資本剰余金	850
繰延税金資産	1,081	利 益 剰 余 金	5,443
差入保証金	1,731	利益準備金	69
前払保証金	35	そ の 他 利 益 剰 余 金	5,373
その他	0	繰越利益剰余金	5,373
貸倒引当金	△16	純 資 産 合 計	6,393
資 産 合 計	17,469	負 債 ・ 純 資 産 合 計	17,469

損 益 計 算 書

(自 2024 年 4 月 1 日 至 2024 年 8 月 31 日)

(単位：百万円)

科 目	金 額	
〔 営 業 収 益 〕		[20,598]
売 上 高		20,072
売 上 原 価		14,716
売 上 総 利 益		5,356
そ の 他 営 業 収 入		525
営 業 総 利 益		5,881
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		5,744
営 業 利 益		137
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	2	
固 定 資 産 受 贈 益	2	
そ の 他	0	5
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	0	0
経 常 利 益		142
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	42	
減 損 損 失	139	
店 舗 閉 鎖 損 失	20	202
税 引 前 当 期 純 利 益 (△ 純 損 失)		△59
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	4	
法 人 税 等 調 整 額	△85	
当 期 純 利 益		20

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

(自 2024 年 4 月 1 日 至 2024 年 8 月 31 日)

(単位：百万円)

	株主資本						株主資本 合計	純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計		
		その他 資本剰余金	資本 剰余金計	利益 準備金	その他 利益剰余金			
当期首残高	950	-	-	69	6,852	6,922	7,872	7,872
当期変動額								
減資	△850	850	850				-	-
剰余金の配当					△1,500	△1,500	△1,500	△1,500
当期純利益					20	20	20	20
当期変動額合計	△850	850	850	-	△1,479	△1,479	△1,479	△1,479
当期末残高	100	850	850	69	5,373	5,443	6,393	6,393

※2024年7月25日850百万円の減資にともない、資本金が100百万円になっております。

尚、その他資本剰余金が850百万円増加しております。

個 別 注 記 表

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準および評価方法
 - 棚卸資産…………… 売価還元法による低価法を採用しております。
なお、調剤部門におきましては、最終仕入原価法を採用しております。
2. 固定資産の減価償却の方法
 - (1) 有形固定資産…………… 定額法を採用しております。
(リース資産を除く) なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物および構築物	3年～34年
器具備品	2年～20年
 - (2) 無形固定資産…………… 定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間に基づく定額法を採用しております。
 - (3) リース資産…………… 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。
3. 引当金の計上基準
 - (1) 貸倒引当金…………… 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権及び破産更生債権等については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
 - (2) 賞与引当金…………… 従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき当期に見合う分を計上しております。
 - (3) ポイント引当金…………… 販売促進を目的としてポイントカード会員に付与した売上に起因するもの以外のポイントの使用に備えるため、当事業年度末における将来利用されると見込まれる額を計上しております。
 - (4) 退職給付引当金…………… 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき計上しております。退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。
数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（7年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。
4. 収益及び費用の計上基準……………
 - ① 商品の販売に係る収益認識
当社の顧客との契約から生じる収益は、主にドラッグストアを中核とした小売業での商品販売によるものであり、これら商品の販売は、顧客に商品を引き渡した時点で収益を認識しております。
 - ② 自社ポイント制度に係る収益認識
当社は、ポイントカード会員に売上に対して付与したポイントを履行義務として識別し、将来の失効見込み等を考慮して算定された独立販売価格を基礎として取引価格の配分を行い、ポイントが使用された時点で収益を認識しております。

重要な会計上の見積りに関する注記

固定資産の減損

1. 当事業年度の計算書類に計上した金額

減損損失	139 百万円
有形固定資産	1,664 百万円

2. 重要な会計上の見積りの内容に関する情報

(a) 算出方法

当社は他の資産又は資産グループのキャッシュ・フローから概ね独立したキャッシュ・フローを生み出す最小単位として、主として店舗を基本単位として資産のグルーピングを行っております。営業活動から生じる損益が継続してマイナスとなっている資産グループ及び回収可能額を著しく低下させる変化が生じた資産グループについて、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、資産グループの回収可能価額は、使用価値により測定しております。将来キャッシュ・フローがマイナスである資産グループについては、零として評価しております。

(b) 主要な仮定

将来キャッシュ・フローの見積りにおいては店舗予算を基礎としております。店舗予算は売上高成長率や粗利率改善等を主要な仮定としております。

(c) 翌事業年度の計算書類に与える影響

これらの見積りに使用した仮定については外部環境、経済環境による影響を受けるため、将来キャッシュ・フローの見直しが必要となった場合には、翌事業年度の計算書類において、減損損失の金額に重要な影響を与える可能性があります。の金額に重要な影響を与える可能性があります。

貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額

4,865 百万円

2. 関係会社に対する金銭債権および金銭債務

短期金銭債権	35 百万円
長期金銭債権	9 百万円
短期金銭債務	39 百万円

損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

営業取引による取引高

その他営業収入	4 百万円
仕入高	0 百万円
販売費及び一般管理費	244 百万円

営業取引以外の取引による取引高 0 百万円

株主資本等変動計算書に関する注記

1. 当事業年度末における発行済株式の種類及び株式数

普通株式 19,000,000 株

2. 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
2024年6月17日 定時株主総会	普通株式	1,500 百万円	78.95 円	2024年 3月31日	2024年 8月30日

税効果会計に関する注記

繰延税金資産および繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産	
減損損失	327 百万円
賞与引当金	87 百万円
未払事業税、事業所税	3 百万円
商品評価損	113 百万円
契約負債	252 百万円
資産除去債務	218 百万円
繰越欠損金	26 百万円
その他	148 百万円
繰延税金資産小計	1,178 百万円
評価性引当額	△27 百万円
繰延税金資産合計	1,150 百万円
繰延税金負債	
資産除去費用	△43 百万円
その他	△25 百万円
繰延税金負債合計	△68 百万円
繰延税金資産の純額	1,081 百万円

金融商品に関する注記

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、設備投資計画に照らして、必要な資金を調達（主に銀行借入）しております。一時的な余資は、短期的かつ安全性の高い金融資産に限定して運用し、また、短期的な運転資金を銀行借入により調達しております。なお当社は、グループ内における効率的な資金運用及び調達を目的としたキャッシュ・マネジメント・システム（CMS）を導入しております。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である売掛金、未収入金は、顧客の信用リスクに晒されておりますが、そのほとんどが短期間で決済されるものであります。

差入保証金は、主に当社が出店する店舗オーナーに対しての差入保証金であり、オーナーの信用リスクに晒されております。

営業債務である買掛金は、そのほとんどが2ヶ月以内の支払期日であります。また、長期借入金は、主に設備投資に係る資金調達を目的としたものであり、返済日は決算日後、最長で3年であります。借入金は主として固定金利で借り入れております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

①信用リスク（取引先の契約不履行等に係るリスク）の管理

当社では、債権管理規定に従い、営業債権、未収入金および差入保証金について、各部門において主要な取引先の状況を定期的にモニタリングし、取引先ごとに期日管理をするとともに、財務状況等の悪化等による回収懸念の早期把握や軽減を図っております。

②市場リスク（為替や金利等の変動リスク）の管理

借入金については、借入金に係る支払金利の変動リスクはあるものの、固定金利で借入しております。

③資金調達に係る流動性リスク（支払期日に支払を実行できなくなるリスク）の管理

営業債務・借入金は、流動性リスクに晒されておりますが、月次に資金繰り計画表を作成するなどの方法により管理しております。

④金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額の他、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

2. 金融商品の時価等に関する事項

2024年8月31日（当事業年度の決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、現金は注記を省略しており、預金、売掛金、未収入金、短期貸付金、買掛金、未払金、未払法人税等、預り金については短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似することから、また変動金利による長期借入金は、一定期間ごとに金利の改定が行われているため帳簿価額は時価と近似していることから、債務額をもって貸借対照表計上額としており、注記を省略しております。

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
差入保証金（1年内回収予定分を含む）	1,789	1,700	△89
資産計	1,789	1,700	△89
長期借入金（1年内返済予定分を含む） 固定金利での借入分	110	110	0
負債計	110	110	0

収益認識に関する注記

顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記 4. 収益及び費用の計上基準」に記載の通りであります。

関連当事者との取引に関する注記

(単位：百万円)

種類	会社等の名称	議決権等の所有（被所有）割合	関連当事者との関係	取引の内容（注2）	取引金額（注3）	科目	期末残高（注3）
親会社	株式会社いなげや	(被所有) 直接 84.2%	C M S (注1)	資金の回収 資金の預託運用 受取利息	18,378 14,150 0	短期貸付金	-
その他の関係会社の子会社	イオンフィナンシャルサービス株式会社	-	クレジット債権の回収	債権回収高 支払手数料	7,942 55	売掛金	761

- (注) 1. CMSは、当社グループ内における効率的な資金運用及び調達を目的とする短期資金貸借取引を内容とするキャッシュ・マネジメント・システムであります。
なお、当該利息は市場金利を勘案して決定しております。
2. 取引価格については、市場価格に基づき交渉の上、決定しております。
また、資金の借入について、借入利率は市場金利を勘案して合理的に決定しております。
なお、担保は提供しておりません。
3. 取引金額には消費税等を含めておりません。
期末残高には消費税等を含めております。

1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額	336円48銭
1株当たり当期純利益	1円09銭